

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・スポーツ大会、国内旅行が増加したため、昨年より来客数が増加している。	
		商店街（代表者）	お客様の様子	・正月を直前に控え、この際に購入しようと商品の買換え、新製品の購入など需要が増えている。一方、暖冬のため冬物商品は不調である。	
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・年々厳しくなっている12月商戦だが、前年並みの売上高を確保できた。クリスマスによるモチベーションの高まりはないが、ギフトや自家需要があったため、来客数が前年比110%と伸びた。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ケーキ、焼き鳥などのクリスマス商品がよく売れ、ギフトも特にハムの売上が伸びた。全体では客の買上点数が0.2ポイント上がった。	
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・家電商品全体の動きが良くなりつつある。 ・パソコンは安定し、液晶関係商品は好調、季節商品も堅調に動いており、全体的には上昇気味である。	
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・大口とまではいかないが、少々まとまった新築家具、婚礼家具が成約し始めている。	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・企業による利用は低迷しているが、個人による利用は徐々に増加してきており、全体として多少上向いている。	
		スナック（経営者）	来客数の動き	・忘年会需要は例年に比べて厳しいものの、3か月前よりは良くなってきている。	
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・SARSの影響が徐々に薄れ、11～12月の状況は前年並に回復している。	
		タクシー運転手	販売量の動き	・この4か月間は売上が前年を超えており、忘年会の客の出足も前年より多い。	
		競艇場（職員）	来客数の動き	・独自かつ最大のレースを行ったため、来客数が増加している。	
		変わらない	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暖冬のため単価の高いコートが動かず、1点買えば安くても追加で買うことはなく、セールもかさ上げになっていない。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・お歳暮のギフト、ブランドを中心とした高額品は動きが非常に好調だが、通常の衣料品、アパレルの動きが大変鈍い。客の購買層が2層化しているということが原因として挙げられる。
			百貨店（購買担当）	お客様の様子	・コート、ジャケットなどの重衣料が大不振で、早期値引販売をしても不振は続いており、やや悪い状況は変わっていない。
			百貨店（売場担当）	来客数の動き	・来客数は11月と比較すると増加しているが、例年と比較すると減少している。 ・防寒物に動きがみられる。
			百貨店（売場担当）	来客数の動き	・来客数は昨年と比べて若干少なめではあるが、単価の高いブーツなどが売れているため、販売量、売上金額は昨年をやや上回っている。
			スーパー（店長）	販売量の動き	・単価は下げ止まったが、販売点数は改善できない。
			スーパー（店長）	お客様の様子	・暖冬による野菜の高騰と、米国でBSE問題が発生したため、今後状況が悪くなる。
			スーパー（店員）	単価の動き	・例年と比べて来客数はやや増加傾向だが、売上は5～10%減少している。 ・低単価商品に購買が集中している。
スーパー（総務担当）	単価の動き		・一向に客単価が上昇しない一方で、健康に関する食材やその関連用品は、割高でも販売が増加している。ただ、食費にかかる総額には限りがあるため、その反動で一般食品の購入額が減少している。		
スーパー（店舗運営担当）	お客様の様子		・チラシ、メモなどを持参し、特売品のみを目的に来店する客が増加している。 ・競合店も含めディスカウント方式が加速している。		
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・近くの店が売出しのときでも、大きな店が広告を入れると、客はちょっと足を伸ばしてでもそちらへ流れていく。			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・12月に入り年末商材の売上は、例年並みを確保しそうである。 ・当社の主力商品であるパンを中心に売上が順調に推移しており、ここ5、6年で一番の伸びである。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・暖冬ということもあるが、必要最小限の商品しか買わない客が増加しており、特に厚手の商品が厳しい。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・客のデジタル放送に対する認識は高まっているが、東京・大阪・名古屋と異なり、実売につながっていない。 ・暖冬のため冬物用品の動きが鈍く、極めて厳しい。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・買換え期間が段々と長引いており、通常なら買い換える客がまだ乗ると言って買換えしないケースがある。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・来客数が少なく、販売車種は低価格のスモールカーに集中している。
		住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・顧客層が大きく2つに分かれており、購入する金額帯の中間部分のボリュームが減っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・忘年会シーズンで、他の月よりは利用客が増加しているが、前年に比べて来客数が減少、客単価が低下しており、レストランにも空席が出ている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会が金曜日と土曜日に集中しており、売上はさほど伸びておらず、12月としては期待外れであり、2、3か月前と比べてもやや良い程度である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・宴会のシーズンで売上を期待していたが、前半は伸び悩み、後半は深夜まで稼動しても単価が上昇せず、結果的に思ったほど営業収入は伸びていない。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・加入契約数がここ数か月の実績から低下したままであり、解約も増加しているため、純増数に増加の兆しがみえない。
		通信会社（販売企画担当）	お客様の様子	・携帯市場は成熟期を迎えて飽和状態に入っているため、販売数が非常に伸び悩んでいる。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・団体ツアー客が大幅に減少しており、その分来場者数が減少している。
		その他レジャー施設〔温泉センター〕（営業企画担当）	来客数の動き	・日帰り温泉部門は、来客数、売上ともに若干前年を上回る動きで推移しており、会員向けの企画の成果が出ている。月半ばまでの宴会等の受注数も、大口が少ない分を小口の数でカバーできている。 ・温泉ホテル部門も、来客数は例年より微増程度と順調に推移しているが、個人客が中心となっており、客単価が思ったより伸び悩んでいる。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・依然として個人住宅向けマンション、一戸建住宅の新築が多い。
		やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子		・冬物商品は月初めよりも失速気味である。 ・セールスの問い合わせが増加しており、ギフト商品も低単価商品に集中している。	
百貨店（売場担当）	販売量の動き		・気温が下がり婦人服の落ち込みは一段落したものの、クリスマス需要である婦人雑貨（アクセサリ、財布、ハンドバック）が大苦戦し、前年比85%で推移している。 ・歳暮需要も早期割引の影響があつて厳しく、販売量は前年比95%である。	
百貨店（電算担当）	販売量の動き		・前年の12月に比べて来客数がマイナス14%、店全体の売上がマイナス3.1%で、百貨店の主な商品である衣料品、食料品が良くなり、前年の売上を確保するのが精一杯である。 ・客の財布のひもは固く、気温が上昇しているため衣料品の動きが悪い。	
スーパー（店長）	お客様の様子		・歳暮の動きが悪く、1点当たりの単価も低下している。また、来店客数も前年比96%～98%と落ち込み、客単価も前年を割り込んでいるため、厳しい状況が続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が低下している上、1人当たりの買上点数も減少している。 ・競合店は集客力を上げるために、特売商品の価格も下げてきている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・前年と比べ買上客数は103%、販売件数は104%ではあるが、客単価が92%のため、売上は先月、先々月と前年割れとなっている。
		スーパー（管理担当）	販売量の動き	・特招会を開いてもまとめ買いが少なく、販売量などが伸び悩んでいる。 ・客は日ごろは購入を抑え、特招会で必要最小限の買物をしているよう見受けられる。
		衣料品専門店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は頻繁に来店する固定客は来るが、一般の来客数がかなり減少しているため、全体でもかなり落ち込んでいる。 ・暖冬のおおりに受けて、Tシャツなどのインナーは伸びているがアウターが苦戦している。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・クリスマスプレゼントに当店の商品が選ばれることが減ってきている。一般的にクリスマスプレゼントに欲しい物は、指輪、ネックレスと言われるが、実際の購買にはつながっていない。
		一般レストラン（店長）	それ以外	・米国でBSE問題が発生し、米国産牛肉の販売を中止したため、見通しが分からなくなっている。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・ファミリー向けのクリスマスバイキングを毎年催しているが、特に若いファミリー層が減少し、全体的にも低調である。
	悪くなっている	乗用車販売店（サービス担当）	単価の動き	・新車の販売台数や、サービスの在庫台数がかなり減少してきている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・来客数が大きく減少してきている。 ・冬季イベントなどをカンフル剂的に実施しても、効果が出ない。
	企業動向関連	良くなっている	-	-
やや良くなっている		輸送業（統括）	それ以外	・今月に入り、来年1月以降の仕事の打合せが、今まで以上に入ってきている。
変わらない		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・暖冬のせいもあるが、特に高級贈答品や企業からの歳暮の受注が相当数落ち込んでいるため、売上が前年同月比で若干の落ち込みをみせており、このままでいくと年明け後も、前年以上の売上増は見込めそうにない。
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・先月から大きな変化はなく、化成品などは先月と同じ横ばいである。また、電子材料は半年ごとに受注量の増減を繰り返しており、セメント関係は引き続き厳しい。
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格やナフサ価格の高騰など原材料費の高騰により、製品売価の高騰もしくは販売利益の減少などの悪化を招いている。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・韓国向けを中心とする造船関連の厚鋼板の販売要望が堅調である一方で、薄板は国内在庫調整などで減産を実施している。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・国内での自社製品の売上は、回復の兆しがみえてきているが、仕入れ商品の売上が依然苦戦を強いられている。
		通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・企業等の通信サービス利用状況は相変わらずコスト重視傾向が続いており、受注量的には活発化の兆しがあるものの、高品質、高価格のサービスから低価格商品へのシフトによるものが大半である。
		金融業（営業担当）	それ以外	・ボトム状況は変わらず、ずっと景気は悪いままである。 ・施主サイドが入札の段階で企業を選別しているため、建設業界では優良企業とそうでない企業との格差が広がっており、価格が安ければ良いということもなくなってきた。 ・業況の悪いところは工事が取れず、さらに悪くなるという悪循環がみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・不況による転勤サイクル延長のため、取引先、特に企業の賃貸期間の延長がみられ、不動産賃貸業としては苦しい。
	やや悪くなっている	建設業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・例年同時期と比較して受注量の落ち込みが大きい。建築需要の伸び悩み、価格競争の激化が原因である。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告の出稿量が各企業とも減少しており、中でも求人関係については右肩下がり状況が続いている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・公共事業費の抑制により、特に土木建設業や官公庁への納品業者の受注状況が厳しい。 ・全ての業種において今冬の賞与額は、昨年を下回っている所がほとんどである。さらに、法改正によって賞与から差し引かれる社会保険料が大幅に増加したため、手取りが減少しており、心理的に一層のマイナスイメージを与えている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・当社の知名度と地域での地道な営業が功を奏し、受注が活発である。前年同月比で180%となっており、年明けにも大型受注案件が数件控えている。
		求人情報誌製作会社（統括）	採用者数の動き	・先を見て求人数を増やす企業が多くなっている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・パートの飲食業、清掃、客室、介護などの求職が活発になっている。 ・タクシー大手の事業者が参入したため、タクシー会社の求職がかなり目立って増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・食料品製造業などからの歳暮商品向け繁忙期対応の臨時求人増加が目立っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増えているものの、パート求人の増加によるもので、常用求人はそれほど増えていない。
		民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・採用ニーズはあるが、投資的な積極採用に比べて、勤務者増加による衛生管理者採用など、法制上の必然性からのものが目立つ。
		民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・地方では相応の雇用をしている企業で、営業ノルマを強化して正職員を減少させているケースがある。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・秋以降に本格化すると思われていた各企業の求人活動が思いのほか振るわないため、採用内定者数の伸びもなく、内定率は前年同月比でマイナス3.4%になっている。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-